

# 平成20年度 環境省エコインターンシップ プログラム 学生向け説明会



事務局 社団法人環境情報科学センター

# 1. エコインターンシッププログラムとは

大学生・大学院生に企業の**環境管理部門等**でのインターンシップを通じて、具体的な企業の環境への取組を体験してもらう事業。

(2007年度開始)

「**次世代に向けた環境意識の高い人材**」の育成を目指す。

## (1) エコインターンシッププログラムの活動

### インターンシップ

企業の環境管理部門で  
実際の業務を体験

期間:平成20年8月、9月  
原則2週間以上

### 成果報告

(体験報告)

インターンシップを通じて  
得たことを発表

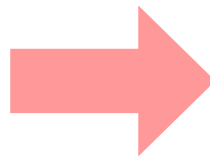
期間:平成20年12月中

## (2) 事業の背景

### 企業の取組

#### 環境経営の推進

- ・地球温暖化対策
- ・省エネ、省資源
- ・リサイクルの推進
- ・化学物質対策
- ・廃棄物対策
- ・グリーン購入
- ・社内での環境教育  
など

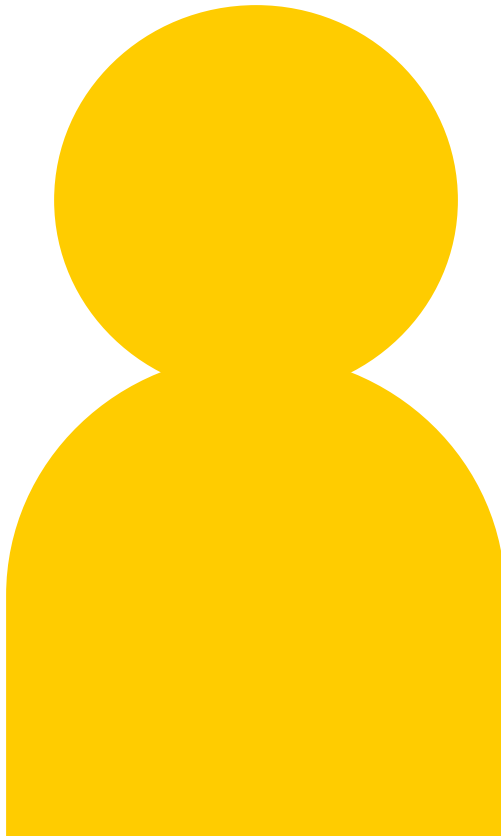


環境報告書

企業に取り組む環境対策について  
**知る機会が少ない**

企業の取組に関する情報があっても  
**十分に伝わっていない**

## 対象

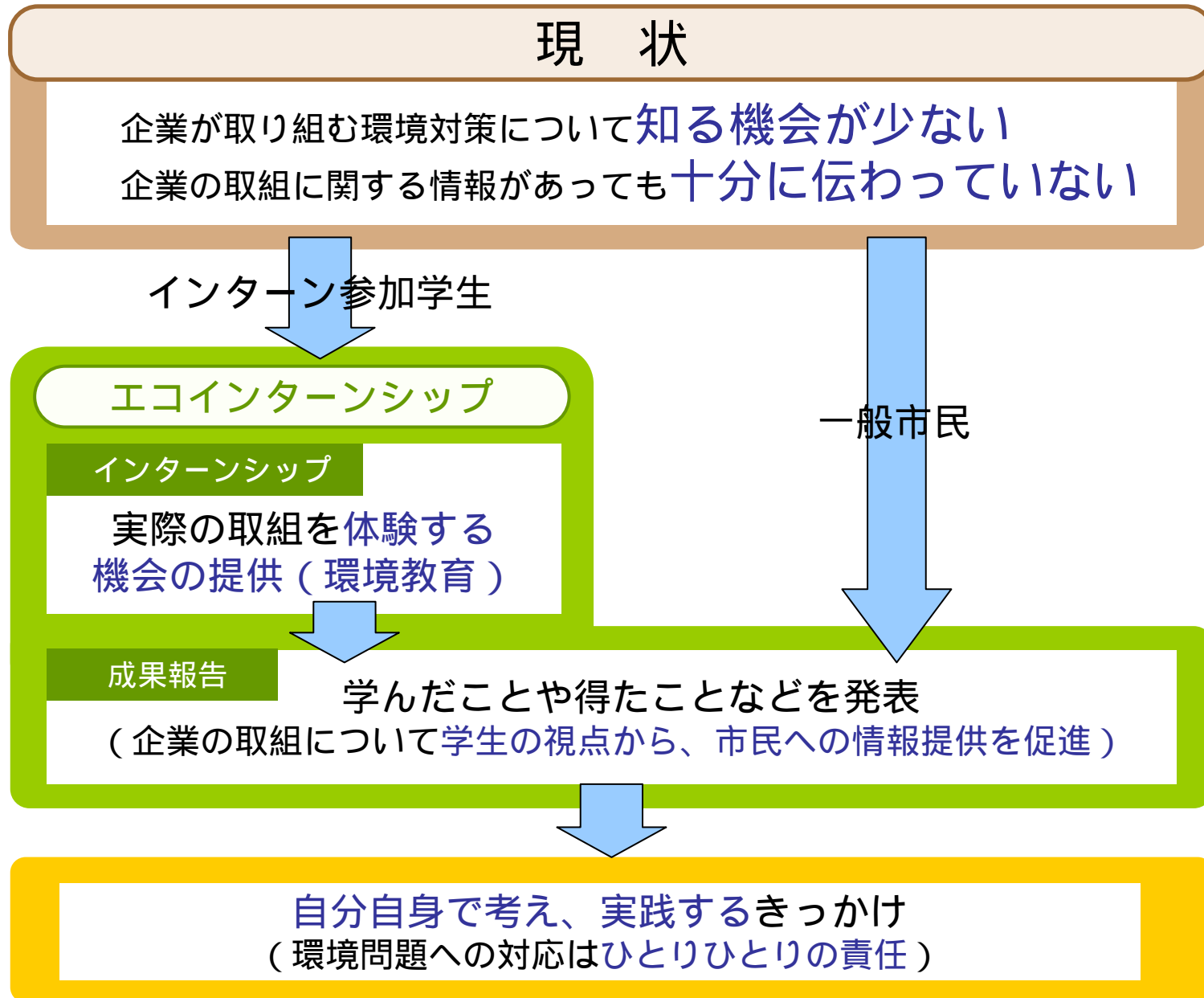


### 大学生・大学院生

企業に対する関心が高い  
社会人とは異なる発想  
社会を支える重要な存在

#### 重要

「働く」を実感すること  
経験すること



## < 学生側のメリット >

- 学業の場では経験のできない企業の環境管理業務を、実際に体験することができる
- 社会人のさまざまな意見や考え方を聞くことができる
- 「環境のことを考えて働く」とは何か、について自ら考え、実践するためのきっかけとなる



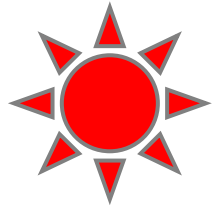
## < 企業側のメリット >

- 自社の取組について情報発信することで、「学生 = 第三者」の立場からフレッシュな意見を聞くことができる
- 学生の教育を通じて、社内においても「環境のことを考えて働くこと」のできる人材の育成につながる
- 学生に対して教育の機会と場を提供をすることによって社会に貢献できる



双方にメリット

# 社会



環境問題に対して、  
表面的(スタイル的)な取組だけでなく、仕事(業務)  
の中で実践できることは何かを、自ら考え、実践す  
ることのできる社会人になってほしい!

**環境問題についてより深く考えるきっかけ**

1. 自ら体験する
2. 体験したことをまとめ、伝える



## 2. エコインターンシップ2008の概要

### テーマ 「環境管理業務」について

#### 募集要領

**募集人数:** 約20名(予定)

受入企業に対し、各社1～数名程度

**実施日・場所:** 8月、9月を予定。各受入企業により異なります。

**費用等について:**

交通費・滞在費等は、受入企業から支給されます。

報酬は原則として支給されません。

**単位認定について:**

各大学により制度が異なりますので、各自でご確認ください

## エントリー資格

下記 ~ を満たす方は、エントリーすることが可能です。

日本国内の大学に通う**大学2年生以上(大学院生含む)**で、**平成20年8月1日時点で満20歳以上**の方。

学部・専攻は問いません。

ただし、就職先が決定している学生を除く

**事前研修(8/8(金)12時~)**に参加できること

**成果報告会(12月中)**に参加できること

## 参加資格

下記、又は の保険に加入すること。

(財)日本国際教育支援協会が取り扱う

1. 学生教育研究災害傷害保険(学研災)
2. 学研災付帯賠償責任保険(学研賠)のA又はBコース

上記保険と同等の内容が補償される保険

保険加入の窓口は、各大学です。

保険加入後は、「加入証明書」を提出していただきます。

## 2008年度受入企業

旭硝子(株)	花王(株)
カシオ計算機(株)	住友スリーエム(株)
セイコーエプソン(株)	積水化学工業(株)
(株)東芝	(株)ブリヂストン
(株)村田製作所	

旭硝子株式会社、住友スリーエム株式会社は、5/26以降にwebサイトに掲載予定。  
セイコーエプソンは、5/26以降に詳細が決定する予定です。

(2008年5月22日現在)

**注意**

エントリー期間は、5月22日(木)~ですが、受入企業は、今後追加されることがありますので、エントリーの際は、受入企業を十分ご確認ください。

## < 受入企業の詳細 >

# 旭硝子株式会社

## 実施概要

**人数:** 2名

**期間:** 9月22日(月)～10月3日(金)の9日間(土日祝日除く)

**部署:** 【本社】CSR室 【千葉工場】化学品カンパニーCSR室 環境・安全統括グループ  
【鹿島工場】化学品部

**内容:** (第1週)本社CSR室にて、会社概要説明、各社気候変動施策に対する比較等、化学品カンパニーにて環境安全に関する説明、実習(安全体感実習を含む)。  
(第2週)化学品カンパニー製造部門にて実習、まとめ、発表会

**時間:** 8時30分～17時15分(うち休憩60分)

**滞在先:** 【本社・千葉工場】自宅 又は ビジネスホテル(通えない場合)  
【鹿島工場】ビジネスホテル

**条件等:** 熱意を持って取り組んでいただける方

## < 受入企業の詳細 >

# 花王株式会社

### 実施概要

**人数:** 1～2名

**期間:** 8月19日(火)～9月1日(月)の10日間(土日祝日除く)

**部署:** 環境・安全推進本部、すみだ事業場(東京工場) (JR亀戸駅 下車徒歩15分)

**内容:** オリエンテーション、会社概要、担当部署の紹介、担当部署業務体験、工場見学、工場の環境管理活動体験、ISO運用体験、研修成果まとめと発表

**時間:** 8時30分～17時00分(うち休憩1時間)

**滞在先:** 自宅

**条件等:** ・自宅から環境・安全推進本部(JR総武線亀戸駅)まで通えること  
・化学工学、応用化学系でマテリアルフローがある程度理解できることが望ましい。

## < 受入企業の詳細 >

# カシオ計算機株式会社

### 実施概要

**人数:** 1～2名

**期間:** 9月1日(月)～9月12日(金)の10日間(土日祝日除く)

**部署:** 環境センター (青梅線小作駅 下車 徒歩15分)

**内容:** 羽村技術センターの紹介、環境センターの紹介、環境センターの実務の説明と実習、環境報告書の分析(自社、同業他社)、製品LCA評価、コーポレートレポート(環境報告書)英語版検収、拠点別環境負荷データの収集・分析、グリーン部品データベース、蛍光X線分析による特定有害化学物質管理 等

**滞在先:** 自宅、社員寮、ビジネスホテルから 相談の上決定

**条件等:** ワード、エクセル、メール、インターネットエクスプローラが使えること。技術系の学生が望ましい。

## < 受入企業の詳細 >

# 住友スリーエム株式会社

### 実施概要

**人数:** 2～4名

**期間:** 9月29日(月)～10月10日(金)の10日間(土日祝日除く)

**部署:** 【本社】環境マネジメント部(東急田園都市線 用賀駅 下車徒歩8分)  
【相模原事業所】JR横浜線/京王線橋本駅 下車徒歩20分

**内容:** 住友スリーエムの企業概要と企業文化の紹介(講習)、CSRと環境(講習)、住友スリーエムの環境活動(講習)、工場見学(環境関連設備の見学や環境管理活動の理解)、化学物質管理システムの紹介(講習)、成果の発表(研究課題1～3のどれか選択)

- ・研究課題1: サステナビリティ経営報告書の他社比較と改善提案
- ・研究課題2: 環境教育資料作成
- ・研究課題3: PRTR対象物質排出分析と改善目標の提案

**滞在先:** 自宅

**条件等:** 自宅から実施先に通えること



## < 受入企業の詳細 >

# 積水化学工業株式会社

### 実施概要

**人数:** 3～5名

**期間:** 8月19日(火)～9月8日(月)の15日間(土日祝日除く)

**部署:** CSR部 環境経営グループ (銀座線虎ノ門駅 下車徒歩5分)

**内容:** 環境経営に対する理解を深めるとともに、企業における戦略の企画・立案を実施。

環境経営全般の理解、社内外とのミーティング、会議へ参加、グループ作業による企画案の選定と提案資料の作成など

**滞在先:** 自宅 又は マンスリーマンション

**条件等:** 学部3年生、修士1年生

より詳細な情報は、webサイトをご確認ください。( <http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/ecointernship/company/list.html> )

## < 受入企業の詳細 >

### 株式会社東芝

#### 実施概要

**人数:** 2～3名

**期間:** 8月21日(木)～9月3日(水)の10日間(土日祝日除く)

**部署:** 【本社】セミコンダクター社 環境企画推進部 (JR山手線浜松町駅 下車徒歩7分)  
【事業所】大分工場 施設管理部環境保全担当(JR九州 日豊本線大分駅 下車タクシー30分)

**内容:** 【本社】半導体の基礎知識、セミコンダクター社環境取組全般について、セミコンダクター社環境監査関連(ISO14001、東芝総合環境監査)、CO2排出量削減施策、環境報告書関連 など  
【大分工場】省エネ取組(社外表彰対象事例など)、環境コミュニケーション、東芝総合環境監査の体験 など

**滞在先:** 【本社】自宅、【大分工場】ビジネスホテル

**条件等:** 自宅から本社(港区芝浦)まで通える

より詳細な情報は、webサイトをご確認ください。( <http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/ecointernship/company/list.html> )

## < 受入企業の詳細 >

# 株式会社ブリヂストン

### 実施概要

**人数:** 1～2名

**期間:** 8月25日(月)～9月12日(金)の15日間(土日祝日除く)

**部署:** 環境推進部 (西武国分寺 / 西武拝島線小川駅 下車徒歩約5分)

**内容:** 1. 社会・環境報告書の分析  
2. ステークホルダーと環境コミュニケーションツールの提案  
3. 工場環境サイトレポートの企画・作成

**滞在先:** 自宅、社員寮、当社宿泊施設(遠方の方のみ宿舎提供)

**条件等:** 企業が行う環境コミュニケーションに関心があり、自分で学ぶ意欲がある方。研修期間中に作成していただいたサイトレポートを、インターンシップ研修生の所属・顔写真入りで発行することに同意していただける方。ワード、エクセル、パワーポイントなど必要最小限のビジネスソフトが使用できれば可。

## < 受入企業の詳細 >

### 株式会社村田製作所

#### 実施概要

**人数:** 1名

**期間:** 8月25日(月)～9月12日(金)の15日間(土日祝日除く)

**部署:** 環境管理部環境管理課(JR京都線長岡京駅 下車徒歩1分)

**内容:** 村田製作所における環境に関する取り組みを工場の見学、CSRレポートを通して理解する。またCSRレポートやホームページを利用して村田製作所の同業他社の取り組みを調査し、環境に関する取組について村田製作所の強み・弱みを洗い出す。その上で、村田製作所の環境活動向上のために必要な事項を提言する。

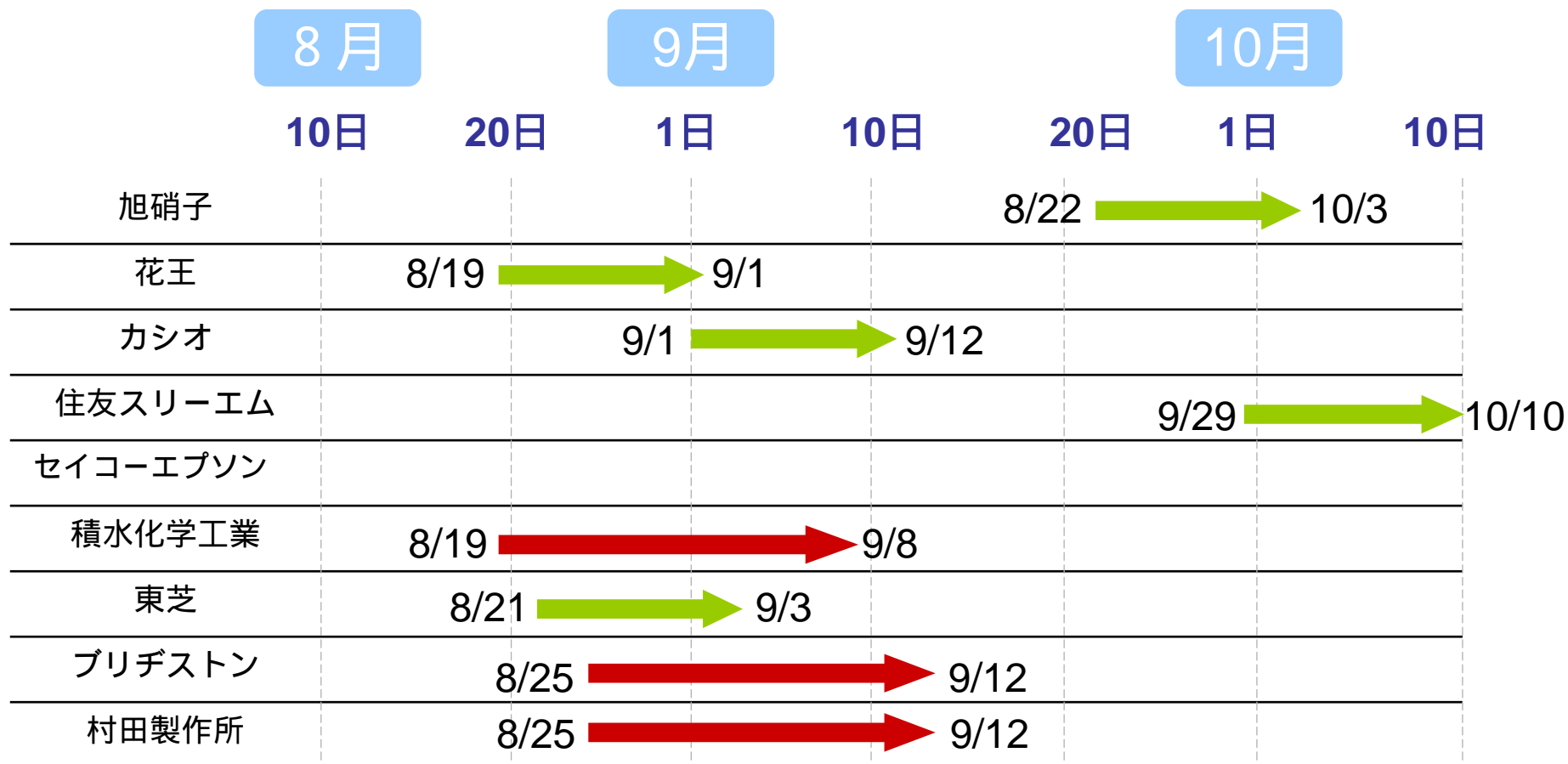
**滞在先:** ホテル 又は 社員寮

**条件等:** 失敗を恐れず果敢にチャレンジできる人、コミュニケーション能力の高い人

より詳細な情報は、webサイトをご確認ください。( <http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/ecointernship/company/list.html> )

# < カレンダー >

2週間   
 3週間 



セイコーエプソンは、5/26以降に詳細が決定する予定です。

# スケジュール

## エントリーシートの提出

エントリーシートをwebサイトからダウンロードし、必要事項を記入の上、事務局までE-mailにて提出。**郵送不可**。  
受信後、事務局から受信した旨を返信。

**エントリー受付期間: 5/22(木) ~ 6/9(月) 12時(正午) 必着**

## 一次選考(書類)

エントリーシートによる書類選考。その後、事務局より、二次選考(面接等)に参加していただけるかどうかを連絡。

**6月上旬 ~ 中旬**

## 保険の確認

一次選考を通過した方は、インターンシップ関連保険等を取り扱う大学の窓口で、エコインターンシップが**保険の適用対象とされるかどうか**を確認。一部確認が不要な大学あり(スライド26参照) **6月中旬 ~ 下旬**

## 二次選考(面接等)・マッチング

面接にて参加意思、希望、保険等について確認。その後、事務局で受入企業とのマッチングを実施。

**6月中旬 ~ 下旬**

**参加学生の決定**

二次選考の結果について連絡。 **6月下旬**  
インターンシップ先決定後のキャンセルは原則不可。

**事前研修への参加**

インターンシップ参加者は**事前研修に参加(必須)**。  
(内容: 社会人としてのマナー、企業の環境管理)  
**8月8日(金)12時~**

**インターンシップの実施**

受入企業にて各自インターンシップを実施。終了後は、  
**体験報告書**を提出。 **8月、9月**

**成果報告会の準備**

体験報告書を元に、インターンシップを通じて得られたことや感想等をまとめ、プレゼンテーション用資料、又は、展示用ポスターを作成。 **10月~12月**

**成果報告会への参加**

インターンシップの成果を広く発表するための成果報告会(仮称)を開催。インターンシップ参加者は、**必ず参加し**、事前に準備した資料を使い発表又は説明。 **12月中**

## インターンシップ関連保険の確認

一次選考通過者に、所属する大学の保険取扱い窓口等で、

1. 「(1) 学生教育研究災害傷害保険(学研災)」と  
「(2) 学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」、又は、  
(1)、(2)と同等の内容が補償される保険に確実に加入できる  
かどうか

2. エコインターンシップへの参加に対し、保険が適用されるか  
どうか

を各自で確認していただきます。

エコインターンシップへの参加が1の保険の適用外とされる場合は、インターンシップに参加することができません。



## < 保険の適用外とは >

大学によっては、大学の主催ではない課外のインターンシップ等への参加は保険の適用外とされることがあります。

**大学の主催**  
 (受入先との連携により大学の課外活動等として扱うものなど)

**個人応募**  
 (受入先が独自に募集、大学との連携なし)

### ポイント

エコインターンシップ(個人応募のインターンシップ)が所属する大学で「正規の課外活動」等として扱われ、保険の適用対象とされるかどうか。

窓口



・保険適用

参加

・保険適用不可

参加 ×

## < 保険の確認が不要な大学 >

(五十音順)

青山学院大学	桜美林大学	関西大学	京都大学
近畿大学	慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)	工学院大学	首都大学東京
成蹊大学	千葉工業大学	中央大学	筑波大学
桐蔭横浜大学	東京海洋大学	東京学芸大学	東京理科大学
日本大学 (生産工学部)	一橋大学	明海大学	横浜市立大学
早稲田大学			

## 事前研修

インターンシップ開始前に事前研修を行います。  
交通費等は事務局が支給します。

インターンシップ参加者には、必ず出席していただきます。

### < 概要 >

日時：8月8日（金）12時00分～17時30分

場所：エコインターンシッププログラム事務局  
環境情報科学センター 2階会議室  
（JR市ヶ谷駅から徒歩5分）

### 研修プログラム（予定）

12時：集合・オリエンテーション

13時～15時：社会人としてのマナー研修

15時30分～17時30分：企業の環境管理について

## 昨年度の事前研修の様子 社会人としてのマナー研修



1. インターンシップの心構え
2. 挨拶と第一印象
3. 笑顔のポイント
4. 身だしなみチェック
5. 立ち居振る舞い
6. 言葉遣い
7. 社会人としてのマナー など



## 昨年度の事前研修の様子

## 企業の環境対策について

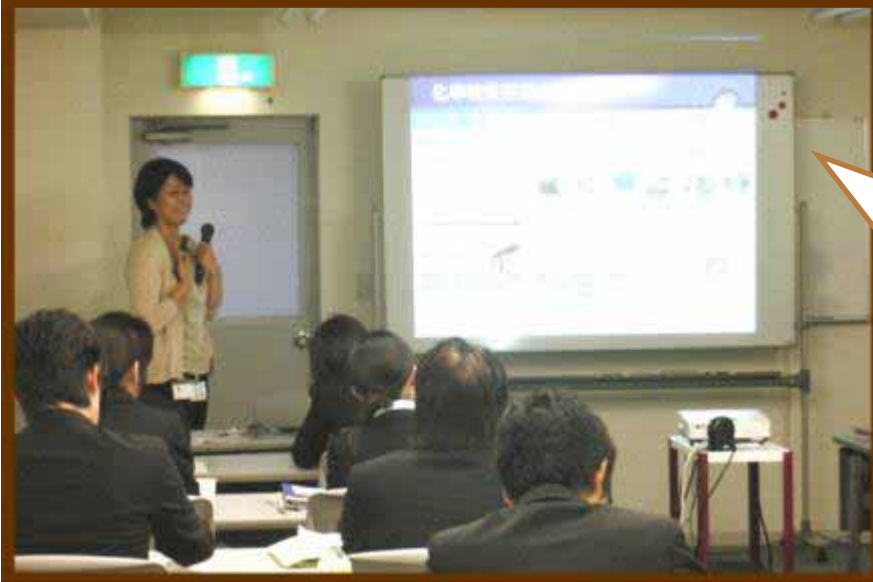
企業における環境管理とは



化学物質管理に関する法令について



企業の化学物質管理



1. 規制と自主管理
2. 企業の化学物質管理の全体像
3. 各企業の事例紹介
4. 企業と地域社会の関わり

## 成果報告会(仮称)

インターンシップを通じて得られたことなどを発表するための成果報告会(仮称)を開催します

インターンシップ参加者には、必ず出席していただきます。

### < 概要 >

日 時：平成20年12月中

場 所：東京都内の会場

参加者：一般市民、学生、企業、行政など

詳細は、決まり次第、ホームページ等を通じて公表します。

## 「環境省エコインターンシップ シンポジウム」



### テーマ

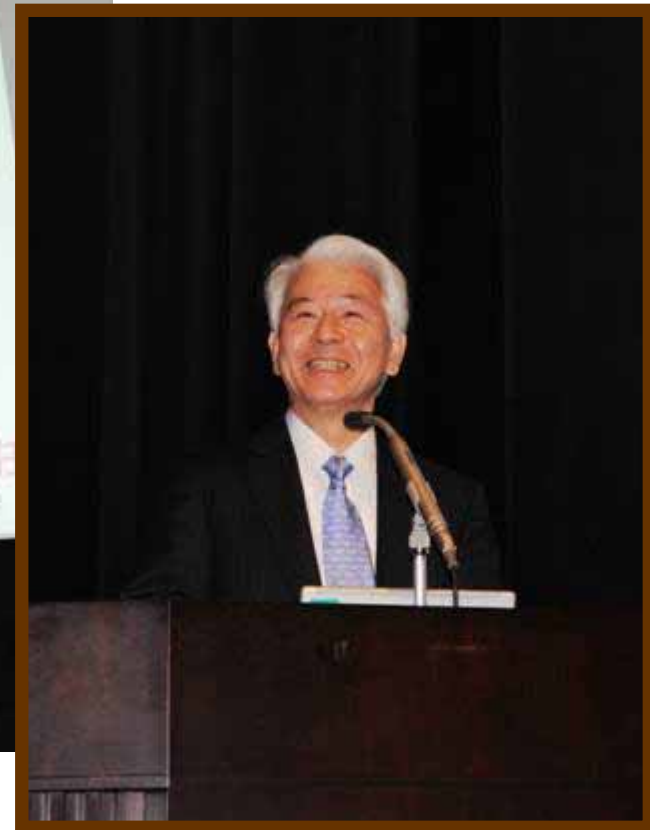
『環境のことを考えて働く』どんな働き方ができるだろう？

第1部 基調講演

第2部 **インターンシップ体験報告**

第3部 パネルディスカッション

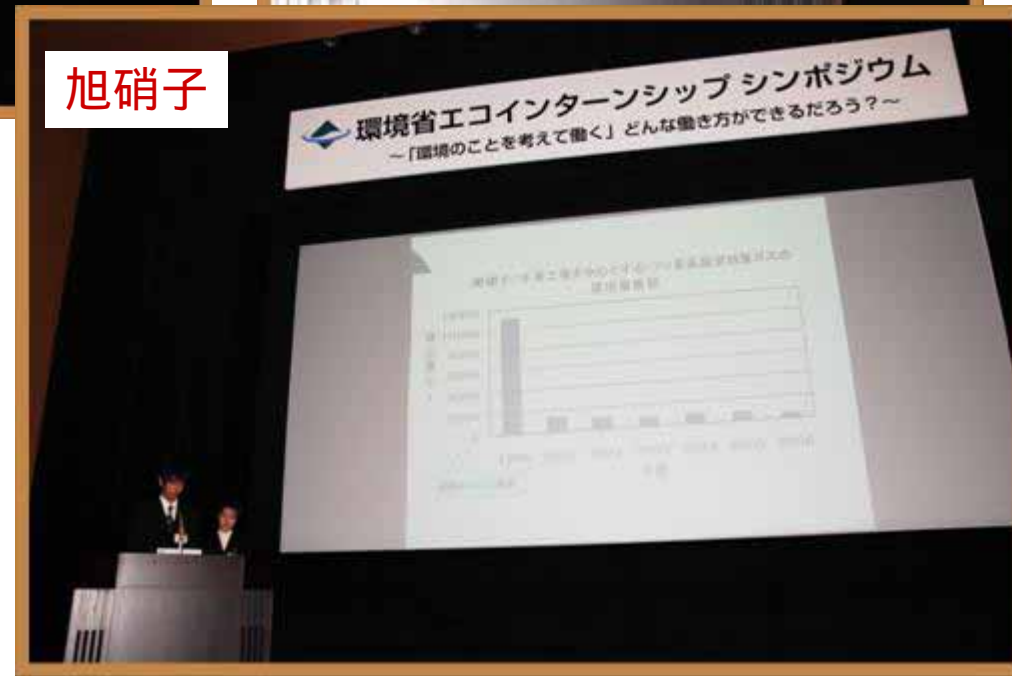
# 「環境問題の解決に向けて 企業は何をなすべきか」



講演者: 安井至先生  
科学技術振興機構 上席フェロー  
国際連合大学名誉副学長、東京大学名誉教授



# インターンシップ体験報告(成果報告)



1社につき10分間の発表 33

# < 学生発表資料(例) > Webサイト上に掲載済み

The image displays a collection of 48 student presentation slides, arranged in a grid. Each slide is numbered from 1 to 48. The slides cover a wide range of topics, including:

- Environmental Reports:** Slides 1, 2, 3, 4, 5, 6, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48.
- Internship Programs:** Slides 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48.
- Social Activities:** Slides 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48.

The slides feature various visual elements such as text, images, diagrams, and tables. Some slides include photos of students and their activities, while others use charts and graphs to present data. The overall theme of the presentations is related to environmental science, social responsibility, and student development.

## 「環境に配慮した社会に向けた 『仕事』のあり方」



コーディネーター：草野満代さん(キャスター)

パネリスト(4名)：石野耕也さん(環境省)

塩崎保美さん(住友化学)

ピーター D. ピーターセンさん(環境コンサルタント)

村尾信尚さん(ニュースキャスター)

## 広い視野、深い追求、粘り強さ

何か行動を起こしていくポイント。

常に広い視野を持つこと、もっと解決策はないか、方法論はないかと深く追求すること  
問題はそんなに簡単に解決しない、必要なのは粘り強さ

ピーダーセン氏

## 必要なのは、基礎学力を身につけること

企業に入ると応用問題が多い。基礎学力がないと応用はできない。  
基礎学力をしっかりと身につけて会社に入って応用問題を解いて、  
発展する企業あるいは社会を構築していくことを望む。

塩崎氏

## 答えを求めるよりもまず先にどういう問題があるかを知る

エコインターンシップは、社会と学生が出会う場。

そこで環境問題への理解も相互に深められる。

持続可能な発展に向けて何ができるか、どうすればいいかという答えを求めるより、  
まず先にどういう問題があるかということをしっかり見ることが重要

石野氏

## ピンチはチャンス

キーワードは間違いなく「環境」。

悲観的なシナリオが出されているが、それをチャンスにするのは若い力。

村尾氏

# 3. エントリーについて

## エントリーシートとは

- ・エコインターンシッププログラムへの応募用紙
- ・一次選考書類



## < エントリーシートの内容 >

個人情報(名前、所属、連絡先 他)

希望するインターンシップ先(第2希望までの名称と理由)

課外活動、サークル、趣味、特技など

性格

環境問題に対する問題意識

参加希望理由

期待することや挑戦してみたいことなど

**提出期間：5月22日(木)～6月9日(月)正午必着**

記入漏れのないように十分ご確認ください。  
締切後は一切エントリーシートを受け付けません。

# < エントリーシートのダウンロード >



トップページ

<http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/eointernship/index.html>

学生の皆さまへ

<http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/eointernship/student/index.html>

## < 問い合わせ先 >

エコインターンシッププログラム事務局

社団法人環境情報科学センター

齋喜(さいき)、谷村、高松

電話: 03 - 3265 - 4000

FAX: 03 - 3234 - 5407

E-mail: [ecointernship@ceis.or.jp](mailto:ecointernship@ceis.or.jp)